

東吾妻町 議会だより

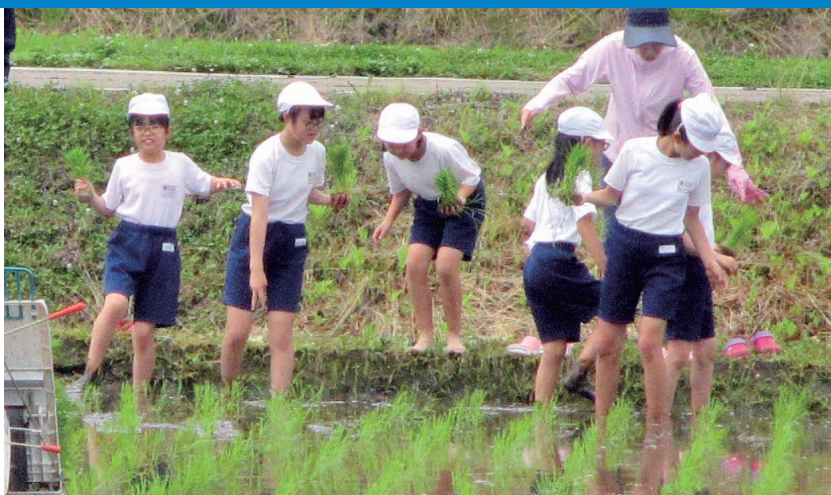
第58号
みんなの議会
2020.8.1



太田小学校5年生の田植え体験（6月23日）

今号の内容

6月定例会で決まったこと……………	2
9議員が町政を問う一般質問 ……	8
各委員会からの活動報告……………	18
まちの声……………	20



6月定例会で決まったこと

会期：6月5日～16日（12日間）

令和2年第2回定例会が、6月5日から16日までの12日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。

会期中、町長から提案された人事案件や条例の改正、令和2年度の補正予算などの議案が審査されました（議案などの審査結果については、17ページの表をご覧ください）。

なお、町政一般質問には9人の議員が登壇して町政をただしました（8から16ページをご覧ください）。

令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）の専決処分が承認されました

歳入歳出にそれぞれ15億7917万円を追加し、総額をそれぞれ97億5998万円としました。

令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第3号）が可決されました

歳入歳出にそれぞれ3億4174万円を追加し、総額をそれぞれ101億173万円としました。



齋藤貴史さん

東吾妻町教育委員会委員を任命しました

教育委員会委員1名の任期満了に伴い、引き続き齋藤貴史さん（原町）を教育委員会委員に任命することに同意しました。任期は6月21日から令和6年6月20日までの4年間です。

■東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

町長・副町長・教育長の給与・期末手当を、7月21日から12月31日までの間、10%削減することとしました。減額分は、町独自の新型コロナウイルス対策事業の財源等に充てます。

■東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

あづま児童クラブが、現在のあづまこども園内の青少年支援センターから、東小学校体育館一階にある、東武道館内に移設することに伴う改正。8月1日より、移設となります。

■工事請負契約の締結について（防災行政無線固定系デジタル化更新工事戸別受信機）

令和2年度 補正予算（専決処分）

会計名	補正額	予算総額
一般会計	15億7917万円	97億5998万円

令和2年度 補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計	3億4174万円	101億173万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	△810万円	7718万円
介護保険特別会計補正予算	±0	17億8774万円

防災行政無線を、4年間でアナログからデジタルへ移行していく事業で、各家庭内の戸別受信機の整備を行うもの。

●契約金額：2億4585万円

●契約相手：パナソニックシステムソリューションズジャパン（株）首都

12月までの議員報酬を10%カット！

■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

令和2年7月1日から12月31日までの6カ月間、議員報酬の額を10%減額することとしました。減額の総額は186万円になります。

「新型コロナウイルス感染拡大による痛みを町民とともに分け合い、議員報酬削減により生じた予算を感染対策に充てるべき」という全会一致で決定しました。

また、その他に議会の視察研修費（40万円）と、議長交際費（30万円）を減額し、前述の議員報酬減額分と併せて256万円を、新型コロナウイルス感染症関連対策費として利用していただくよう、執行部へ申し入れを行いました。

圏部門 執行役員副社長
奥村 康彦

■業務委託契約の締結について（東吾妻町防災・減災省エネルギー設備導入事業委託）

災害時における避難場所等防災施設における電力確保と併せて省エネルギー設備を導入し、CO2削減を行うもの。
●契約金額：1億1713万9000円

●契約相手：角田電気工事（株） 代表取締役 角田治男（東吾妻町）

■東吾妻町簡易水道事業への、移行に関する件（請願）を趣旨採択

質疑

議員 結果的に執行部、行政側の現状を追認するような、この審査結果になったことについて、どのような議論があったのか聞きたい。

総務建設常任委員長 今回

この大切な問題を解決するために、近い将来に町管理にするというのは、厳しいと受け止めた。その中で、それでもこの問題は、上下水道課においてもこれから大変な問題になってくるだろうという認識を持っている。この問題を解決したい、しなければならぬ、という思いを町と共有した中での趣旨採択である。

賛成討論

根津光儀議員

烏帽子地区は計量器をつけて、維持管理の積立等を行ってきた。町の水道体制と変わらない、安全管理を行ってきた。高齢化と共に、この施設を維持していくのは大変なことであり、そのため簡易水道として町が管理する体制にできないかというのが、請願の趣旨である。

■町道5242号線改良の請願を採択

賛成討論

根津光儀議員

古谷地区内、町道5242号線は、町道でありながらあまりにも幅員が狭く、その構造も危険極まりない状態である。

しかし、この路線は行き止まりの道路ではなく、他の町道と複数箇所接続している重要な道路でもある。幅員について、県事業で工事を行うには4メートルの幅員の確保が必要ということだが、そのことに、集落の中で異存はない。集落に必要、不可欠な道路であり、地域住民が求めている道路改良、これを採択して、そして取り組んでいくことは、今後の地域の基盤を整えていく上で、非常に重要なことである。

令和2年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	繰越額
まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略策定支援業務委託料	220万円
定住促進事業住宅取得補助金交付事業	774万円
水源地域活性化支援事業	3363万円
吾妻渓谷活性化対策事業	4170万円
固定資産税課税客体調査及びシステム更新業務委託	2220万円
住宅新築改修等補助金交付事業	39万円
渓谷自然公園事業	186万円
道路改良事業(町道5059号線(須郷沢))	300万円
道路改良事業(町道馬場・相原線)	1190万円
道路改良事業(町道5085号線(上野・在下))	120万円
道路改良事業(町道馬場・手子丸線)	2000万円
道路改良事業(上信自動車道関連)	1311万円
道路改良事業(上信自動車道一部開通プレイベント)	250万円
橋りょう維持費	5325万円
公営住宅管理費	690万円
国・県指定文化財保護事業	100万円
河川復旧費	201万円
道路復旧費	1億3953万円
新規加入者ケーブル引込事業	41万円

57号の訂正

5月発行の「東吾妻町議会だより みんなの議会」第57号、7ページの「工事請負契約の変更締結」の説明文に書かれている、変更後の金額「4950万円」は、正しくは「5288万8千円」です。

以上の点について、訂正してお詫びいたします。

その他決まったこと

■東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 ■東吾妻町監査委員条例の一部を改正する条例
 ■東吾妻町職員団体の登録に関する条例の一部を

改正する等の条例
 ■東吾妻町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
 ■吾妻峡温泉天狗の湯使用料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
 ■東吾妻町介護保険条例の一部を改正する条例

■東吾妻町税条例の一部を改正する条例
 ■東吾妻町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例
 ■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

令和2年第2回臨時会で決まったこと

令和2年第2回臨時会が4月17日に開かれました。

町長から条例の改正や補正予算など、5議案が提出されましたが、いずれも原案どおり可決されました。

■専決処分の承認

◎令和2年度東吾妻町一般会計補正予算(第1号)
 歳入歳出に、それぞれ881万円を追加し、総額をそれぞれ81億8081万円としました。

新型コロナウイルス感染症対策に係る経費について、特に緊急を要するため、衛生用品の備蓄・緊急経済対策補助金等。

◎東吾妻町税条例等の一部を改正する条例
 地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、東吾妻町税条

例等の一部改正を行いました。

◎東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 地方税法の改正に伴い地方税法施行令が一部改正されたことに伴い、東吾妻町国民健康保険税条例の一部改正を行いました。

■東吾妻町固定資産評価員の選任
 谷 直樹さん(税務課長)

■吾妻環境施設組合の設立
 老朽化した施設を更新し、ごみ処理事業を共同化するために、吾妻郡内6町村による一部事務組合を設立し処理していくことで、6町村長が合意しました。

議事録（会議録）をホームページに掲載しています

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の会議録は、閲覧できるよう議会事務局に備えています。



『請願』『陳情』のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

・提出先：議会事務局

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）

あて先（東吾妻町議会議長）

・その他：邦文で記載してください。

皆さんからの請願

請願	趣旨採択	東吾妻町簡易水道事業への、移行に関する件	烏帽子区長 春原利男 紹介議員 根津光儀	総務建設常任委員会
請願	採択	町道5242号線改良の請願	古谷区長 関 芳男 紹介議員 根津光儀	総務建設常任委員会

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。（令和２年６月現在）

処理内容（詳細経過）	要望箇所
令和４年度の土地改良事業採択後に実施予定	町道3005号線 (本宿 上の原)
令和２年度中に坂上地区において新たなバス輸送サービスを試験的に導入する方向で調整中	坂上地区
平成27年度測量設計業務実施済だが、昨年の台風で被害を受けたため、復旧について調整中	町道程岩・堂ヶ沢線 (泉沢地内)
令和2年度工事で完了予定	町道2279号線 (大戸 下宿地内)
令和2年度工事で完了予定	町道鳩の湯線
トイレ・休憩所（四阿）・トイレの案内看板は完成。直売所は予定なし	萩生地区
ノベルティの発注、原材料、小規模工事等の業務など、できるだけ地元業者を指名し発注に心がけている	
今後、交通量の増加や地域ニーズ等を踏まえ検討する	坂上地区
同上	坂上地区
新井地区(鳳来橋付近)から万木沢地区まで平成30年度より着工。上信自動車道建設事務所発注区間は以降順次拡幅予定。起点部(厚田新井)は県道事業に併せ用地補償(令和元年度)実施	町道新井・横谷・松谷線 (厚田～三島間)
補償額が大きくなるため、困難	町道3068号線 (大戸 上宿地内)
補償額が大きくなるため、困難	町道5267号線 (郷原辻地内)
トイレ・休憩所(四阿)・トイレ案内看板は完成。観光看板は大柏木トンネルの開通後の動線により検討	萩生地区
検討中。水環境については改善した	十二ヶ原
令和元年度から道路改良工事着工（工事中）	町道長寿園線 (本宿地内)
予算的に困難であり、調整中	町道岩下川中線 石上橋
令和元年12月にスポーツ協会本部役員・弓道部・社会教育課担当と町弓道場を視察し、弓道場新設、老朽化対策について意見交換を行った	
新たな設置は、大柏木トンネルの開通等による需要を見極めて検討	本宿地区坂上薬局付近
平令和元年度詳細設計実施 現在、用地買収中	町道5085号 (原町 上野地区)
工事費が多額となることから関係機関との協議中	原町地区
中学校では毎年２回ずつ全保護者・全生徒を対象とした学校評価アンケートを実施しているため、担当課としてはこの陳情については「完結」しているものと考えている。	中学校
補償額が大きくなるため、困難	町道新井・横谷・松谷線 (三島 唐堀地内)
平成30年度工事実施済	町道5247号線 (郷原 古谷地内)
町道本宿・日向線は本年度オーバーレイ工事を発注予定。上本丸橋は平成30年度床版防水対策工事実施済	町道本宿・日向線 上本丸橋
実施するとすれば、どのような形にするかを協議中	小学校
工事発注に向け調整中	川戸地区
飲料水については応援要請により給水車の派遣を検討。町営以外の簡易水道等整備事業者(小水道組合等)への補助事業があるので活用してほしい。復旧指導について、水道事業運営経験の範囲内でできる指導、支援をしていきたい	

あの請願・陳情はどうなったか？

No.	陳情件名	採択議会	担当課	処理状況
1	町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	農林課	処理中
2	坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	企画課	処理中
3	町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	建設課	処理中
4	請願書 公衆用道路の拡幅改良について	平成23年6月採択	建設課	処理中
5	陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	建設課	処理中
6	「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	まちづくり推進課	処理中
7	地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	まちづくり推進課	処理中
8	陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	企画課	処理中
9	陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	企画課	処理中
10	陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	建設課	処理中
11	陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	建設課	未決
12	陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	建設課	未決
13	萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	まちづくり推進課	処理中
14	十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月 採択	農林課	未決
15	町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	建設課	処理中
16	橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情	平成27年9月採択	建設課	未決
17	東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	社会教育課	未決
18	安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	まちづくり推進課	未決
19	町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書	平成27年12月採択	建設課	処理中
20	上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	建設課	未決
21	町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年3月採択	学校教育課	完結
22	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	建設課	未決
23	町道5247号線ほかの改良の請願	平成30年6月採択	建設課	完結
24	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月採択	建設課	処理中
25	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月採択	学校教育課	未決
26	町道における通行危険箇所の改修に関する陳情（内出区長）	令和2年3月採択	建設課	処理中
27	大規模自然災害発生時、行政の支援、指導の体制に関する件（烏帽子区長）	令和2年3月採択	上下水道課	処理中

未決・・・どのような方法で行うか決定されていない

処理中・・・着手し進行中

9 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（9月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q 緊急時、災害復旧時の助け合いについて

A

町は全力で支援する

Q 災害時の行動として自助・共助・公助の考え方は、新型コロナウイルス感染症対策においても共通する。自助・共助・公助について町長としてどのように考えているか。

A 非常持ち出し品や避難所の確認を話し合っておくことが個人や家庭にとって大切であり、避難訓練などの実施を通して高齢者や乳幼児など周囲と助け合う体制を作っておくことが望まれる。公助については地域の防災能力の向上をはかり支援体制の構築に努める。災害時に町は、消防、警察とともに救助活動や

支援物資の提供を行う。収束後は被災者の生活支援や復旧に向けた取り組みを進める。感染症緊急事態についても、自分や家族が感染しないための行動、周囲への配慮が自助・共助の部分である。公助としては感染防止の施策と、生活への支援が基本と考える。

Q 災害対応にあたる区長の立場をどう考えるか。

A 町は行政区や消防団員と協議し、地域の実情に合わせた自主防災組織づくりを推進していく。

Q 災害対応は協力者も地域活動の重要な担い手である。また、

団長命令が出ていない消防団員の立場をどう考えるのか。万一の事故などの際どう扱われるのか。

A 一般の町民が協力する防災活動で万一事故にあった場合、補償を受けることができる。有事の際、消防団員は地域に密着した活動が必要であり団長の命令を待たず巡視や避難誘導をするこ

ともあるが、自主的活動に対し団員としての処遇は受けられる。災害時における共助に対し町が全力で応援することが公助である。

Q 昨年の台風の際には地域の小水道が大きな被害を受け、自力

で仮復旧に取り組んだ。多くの労力と時間がかかった。生活の基盤である水の確保について、町から十分な支援が受けられなかったと聞く。町長はどう考えるか。

A 地域の小水道復旧等について、町として全力で支援していく。



ねづみつぎ
根津光儀 議員



消防団の防災訓練



さとう そういち
佐藤 聡一 議員

Q 一般廃棄物処理施設の今後の進行日程は

A プラントヤード跡地の払い下げが決まらないと日程が決まらない

Q 一般廃棄物処理施設の今後の進行日程は、

A 3月にダム事務所を確認した結果、民

有地との境界杭打ち作業が遅れていて、払い下げには一年半から2年ほどの期間を要するとの事。

Q 議会への説明資料では令和2年から始まり令和8年完成とあるが。

A 構成6町村の議会では設立議決がされた

が、今後6町村で協議書等を6月中に県へ申請、遅くとも8月上旬には一部事務組合設立承認の予定。

Q 地元としても廃棄物処理施設の受入や運営方法の心配、地元としての要望等を協議願いたい。

A 今後町を窓口、地元への還元も考慮

反映するよう配慮する。

Q 2点目は、学童保育の当町の今後の方針

について、保護者は学童保育施設を、学校の近くで安全な場所を要望していたと思われる。今回、太

田小学校改修工事に合わせランチルームの一部を学童保育所に、あづま児童クラブを小学校体育館1階の武道場に移設することになった。今後残りの3小学校の学童クラブ

もなるべく早く学校施設の中に移設しては。

A 学童クラブは町にとり必要な施設であるので、今後残りの3校も検討していきたい。

Q 3点目は、中之条町が自伐隊方式の木の駅を作り、当面公共施設での燃料、将来は温泉旅館や農業ハウスなど民間へも広げたいとしている。

以前の自伐隊等の質問に対して町長は広域で検討してみたいとも回答している。森林環境譲与税基金積立金を使い林地台帳管理システム構築を進めるようだが、当町では新規でバイオマス発電所の

計画があることも聞いている。町長の考えを伺いたい。

A 今後、森林所有者の意向も踏まえ、管理システムを活用し森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用、森林組合や林業関係者の雇用・規模拡大を想定している。バイオマス発電所が出来るなら、雇用確保や木材利用が図れると考



現在の大柏木プラントヤード跡地

人口減社会に対応したことも園および学校づくりについて

A 地域に根ざした小規模教育活動と異学年交流を重視する

東吾妻町の人口減少傾向は吾妻郡の6町村中比較的強く、人口減少は予想を上回る速度で進行、2040年には当町の人口は約7400人となる見込み。特に、14歳以下の児童生徒数が全人口の6・3%と極めて少ない不均衡な人口構成の人口減少社会を迎える。

町はこの状況を深刻に受け止め、人口減社会に対応したことも園及び学校づくりを目指すべきである。

Q 町の方針で、「子育てはみんなだ」となっている。第1子、2子の園児の保育料を軽減する考えは。

A 保育内容を充実させると共に、保育料の軽減は社会情勢や近隣町村の動向を見て総合的に判断する。

Q 園児数を左右する町の合計特殊出生率は現在0・96、4年後の目標が1・25。出生率を増やす画期的な施策とは。

A 保育料の無料化も一つの施策ではあるが、今後検討していく。

Q 少子化に対応した小規模な教育環境づくりについての考えは。

A 現時点では小学校の統合は考えていない。小規模だからこそできる地域に根ざした特色ある教育活動（マイタウン

ティーチャーや特別支援員など）を実践し、個々の能力や適性を伸ばし、異学年交流を重視して全校児童と先生方の一体感を深め、教育を充実していきたい。また、オンライン授業などの環境整備を進め、今年度中には使用可能にする。さらに、他校とのオンライン授業や合同授業については検討したい。

Q 少子化に伴う児童生徒数の減少により、相当数の余裕教室が生じていると考えられるが、放課後児童クラブ（学童保育所）としての活用は。

A 学校に余裕教室はないと認識しているが、今後とも子どもたちの成長につなげられるよう有効に活用していく。

Q 少子化による中学校の部活動の在り方についての考えは。

A 部活動の在り方について見直さなければ、ならない時期が来たら、生徒や保護者の意見を聞き、数年かけて対応していく。



こばやしこういち
小林光一 議員



学童保育所が校舎内へ移転する予定の太田小学校

Q 新しい生活様式に向けて当町の取り組みはどうか

A 感染症対策に向け取り組んでいる



あおやぎ
青柳はるみ議員

Q 消毒液を行政関係だけでなく住民に配布し、長期にわたる気を緩めない取り組みを促していくべきだ。図書についても本の殺菌機械導入を進めるべき。

各役員会が書類決裁となっており、本年度の区長会も開けないでいる。一堂に集えない時は、各地区の公民館をオンライン会議システムでつなぎ顔の見える、意見交換もできる仕組みを構築し、新しい時代に即した整備を考えてもらいたい。災害時の避難に対し感染対応の取り組みを。

A 電解水生成装置を1台導入予定で、お子様の哺乳瓶、手指の消毒に有効。役場に向いにくださる場合には提供させていただくことも可能である。

図書は紫外線による殺菌機械はないが、返却された本はガイドラインに基づいて一定期間保管してから貸し出している。オンライン会議は職員同士では試行したが、公民館では今のところ考えてない。

避難所は消毒用エタノール、マスク、換気扇風機などを配備し感染症対策に努めている。

Q ギガスクールの現状と目指すものは。

A ギガスクール構想のメリットを享受できるように研修していく。共同調達を県が行い8月に業者と契約をし、10月上旬から使用できる予定。今までの授業では実現できなかったことや授業に積極的に参加しやすくなるといったメリットを一人残さず取り入れ、効率的な授業づくりをしていく。町教育研究所を通して、すべての先生方にICT機器を活用できる知識技術を習得させていく。



Q 集積場所までのゴミ出しに困難を抱える高齢者・障がい者世帯、乳児を抱え時間に出せない家庭がある。他自治体では申請により軽トラで週1の回収サービスをしている。当町は2週に1回でもいいと思うが。

A 地域で安心して生活ができるよう検討課題としていく。

Q ゴミ出し困難者に支援を

Q

新型コロナウイルス感染症による損失と対策について

A

状況に応じ情報提供や必要な事業と支援を行っている

Q 町内で営業している商工業等にも経済的損失が発生しているがど

指導していく。
授業時間は、主要5教科など本来の7割、生活科を6割、総合的な学習や道徳を3割にそれぞれ減らし工夫しながら確実に指導していく。

Q 4月16日緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、移動自粛となった。管内の幼稚園、小・中学校が休園、休校となり学習活動が中断され学ぶ機会が失われた。今後の学習活動は、どの様に取り組んでいくのか。

A 学校再開後における教育課程の編成及び実務は、学習指導要領の項目を減らさない一方、

損失が発生しているがど
町内で営業している商工業等にも経済的損失が発生しているがど

指導していく。
授業時間は、主要5教科など本来の7割、生活科を6割、総合的な学習や道徳を3割にそれぞれ減らし工夫しながら確実に指導していく。

Q 4月16日緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、移動自粛となった。管内の幼稚園、小・中学校が休園、休校となり学習活動が中断され学ぶ機会が失われた。今後の学習活動は、どの様に取り組んでいくのか。

A 学校再開後における教育課程の編成及び実務は、学習指導要領の項目を減らさない一方、



たかはしひろし
高橋 弘 議員

Q 4月16日緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、移動自粛となった。管内の幼稚園、小・中学校が休園、休校となり学習活動が中断され学ぶ機会が失われた。今後の学習活動は、どの様に取り組んでいくのか。

A 学校再開後における教育課程の編成及び実務は、学習指導要領の項目を減らさない一方、

Q 4月16日緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、移動自粛となった。管内の幼稚園、小・中学校が休園、休校となり学習活動が中断され学ぶ機会が失われた。今後の学習活動は、どの様に取り組んでいくのか。

A 学校再開後における教育課程の編成及び実務は、学習指導要領の項目を減らさない一方、

A

侵入防止柵は設置終了、消毒用石灰を配布している

Q

家畜伝染病のCSF（豚熱）の取り組みと対策について

Q 家畜伝染病のCSF（豚熱）は、国内において26年ぶりに発生が判明、感染拡大が止まらずワクチン使用が開始された。感染源となる野生イノシシの分布は年々広がり、長野原町心桑と北軽井沢で捕獲された野生イノシシから感染が確認された。町の対策は。

A 養豚場への侵入防止柵の設置は全ての事業体で終了し、野生イノシシからの感染は防げると考えている。防疫対策として、昨年度から消毒用石灰を配布している。また、家畜伝染病予防法に基づき新たな管理規準の遵守をお願いして行く。ワクチンの接種は4月から有料となつて

いるが補助について考えるはあるか。

A 県家畜伝染病予防法の関係手数料条例で1頭340円と規定されているが、県に対して手数料の減免等を要望している。



イノシシ侵入防止柵



いのうえ ひでき
井上英樹 議員

Q

地域防災計画の更新について 問う

A

同計画の更新の他、国土強靱化 地域計画の策定を予定している

地域防災計画の一部見直しを

Q 大金を費やす更新は不要と考える。災害

備品の個数や配置、また災害協定を結んだ民間事業者との定期的な内容確認が必要ではないか。

A 災害備品の確認は当然ながら実施する。

災害協定を結んだ事業者とは定期的な確認を念頭に実施していきたい。

Q 現在、災害時対応は行政区長を中心として自主防災組織を編成することになっている。消防団関係者を中心とした自主防災組織にすべきではないか。この件について

での聞き取り調査を求め

A 自主防災組織の中心を消防団OBや関係者に担ってもらうことは有効と考える。行政区長と意見交換して地域の実情に見合ったものにした

Q 一定数の役場職員が被災または感染等した場合、その対応策として業務継続計画が策定されているが、どの時点で発令するか明記がない。これは問題ではないか。

A 県の防災機関からは早めの対応を指示されている。感染症、災害を含め、早めの判断をしていく。

Q 昨年、地域おこし協力隊員の希望者が無かったと聞く。動画配信に関心を寄せる若者が多く、町政動画配信を主目的とした希望者を

入を！
町政の動画配信の早期導入を！

Q 地域おこし協力隊員（最長3年）退任後の定住の受け皿も踏まえて検討していく。

募集してはどうか。

A SNSの有効活用や動画配信等についてはこれに経験の少ない職員で議論しても進まない。地域おこし協力隊員や関心ある職員、また実際に活用している職員等でプロジェクトチームを作ってはどうか。

Q SNSの有効活用や動画配信等についてはこれに経験の少ない職員で議論しても進まない。地域おこし協力隊員や関心ある職員、また実際に活用している職員等でプロジェクトチームを作ってはどうか。

A 若手職員にはこの分野の技術や関心を持った者もいる。岩櫃山のPR動画は受賞実績もある。今後協議して進めていきたい。

Q SNSや動画配信は広報だけでなく災害時にも有効な情報伝達手段となる。多角的な視点から早期の実現を求める。まず防災に関する資料を毎戸配布する。その後も観光振興や町民の安全のために検討していく。

Q SNSや動画配信は広報だけでなく災害時にも有効な情報伝達手段となる。多角的な視点から早期の実現を求める。まず防災に関する資料を毎戸配布する。その後も観光振興や町民の安全のために検討していく。



右…新型インフルエンザ等対策行動計画
左…東吾妻町地域防災計画

Q ふるさと納税の推進で町の活性化を

A 目標達成に全庁挙げて取り組んでいく

農商工のプロジェクトチームを

Q ふるさと納税を地方創生の起爆剤にしよ
うとする自治体が増えて
いる。当町では残念ながら
寄付額も数年変化なく、
他自治体に比べやや出遅
感があるように思うが。

A ご指摘のように寄付
額はここ数年大きな
変化はない。しかし昨年
度の寄付件数は前年比
23%増の251件、中
でも台風19号における災
害支援には返礼品がない
にもかかわらず108
件の寄付があった。

Q ふるさと納税は特産
品をPRすることで
自治体の認知度を高める
とともに自主財源の乏し
い自治体にとっては歳入
確保に極めて有効。当町
でも一段と高い目標（1
億円）を設定し積極的に
推進すべきでは。

A 平成30年度より15
00万予算計上、平

成30年度及び令和元年度
はともに830万程度と
なり、なかなか目標額を
達成できないが、今後も
目標達成に向けて取組ん
で行きたい。

Q 今後、住民の方、観
光大使等に制度、趣
旨を理解していただいた
上で、町外に住む家族や
親類宛に葉書で協力を仰
ぐ、また役場内に専属担
当職員を配置し、農商工
関係者数10名のプロジェ
クトを立ち上げる等全庁
上げて目標達成すべきと
思うが。また、併せて地
域課題解決に資する事業
を示してのクラウドファ
ンディング方式も推進す
べきである。



たかはしのりき
高橋徳樹議員

A 葉書による協力は、
個人情報

取り扱いや特殊
詐欺などの対策
を含め慎重に検
討したい。担当
職員は他の業務
と兼務で行って
おり、限られた
人員と予算の中
で職員増は困難
だが、全庁上げ
最大限の努力を
して参りたい。

産業振興の担い手 人材確保を

Q 担い手候補
の地域おこ
し協力隊に期待
する役割は。ま

た集落支援員の活用も検
討されてはどうか。
A 隊員には地域ブラン
ド開発やPR、農林
業従事等地域リーダーの
一員になることを期待。
過疎化、高齢化は大きな
課題であり、今後、支援
員等人材掘り起こしを含
め検討していきたい。



ふるさと納税返礼品の一例



新型コロナウイルス蔓延対策の今後の課題は



医療・福祉現場や町民への供給を視野に、衛生用品等の備蓄体制を構築する



しげのよしゆき
重野能之議員

Q 私達の社会は今、多くの脅威にさらされている。日本の近隣である香港では、言論・表現の自由などを守るために若き人々が懸命に活動しており、このことは決して対岸の火事ではない。更に新型コロナウイルスの蔓延というかつてない脅威である。この命を脅かす新型コロナウイルス蔓延に関する町長の見解は。

A 新型コロナウイルスの蔓延は、町民をはじめ日本国民・全人類にとって初めての経験となり、大変な困難に直面した。また、命の危険と社会経済活動の停滞を余儀なくされた中、今日まで当町民から一人の感染者も出さずに来られたことは、ひとえに町民皆様のご協力の賜物と感謝している。今後も「新しい生活様式」などを実践しながら、日常の社会経済活動をとり戻していくことが大事と考えている。

Q 特に医療機関、医療従事者の方々には想像を超える様々な負担が強いとされてきた。第2波・第3波を想定して課題と対応策は。

A これからは、今まで以上に医療現場、福祉施設や町民への供給も視野に入れて衛生用品等の物資を町として備蓄できる体制を構築していく。また、郡内の医療・PCR検査体制や、一人一人の行動が重要になってくると考える。町民の命を守るためにも、ワクチンの早期開発を心から望んでいる。

Q 町内経済にも深刻な影響が出ている。商工会の調査では、ある月の売上減少率50%以上の町内業者は約5割に上り、商工会から町議会に要望書が出されている。町長の見解は。

A 町内経済にも深刻な影響が出ている。商工会の調査では、ある月の売上減少率50%以上の町内業者は約5割に上り、商工会から町議会に要望書が出されている。町長の見解は。

感染症対策へのご協力をお願いします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために
くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。

3つの咳エチケット
電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

正しいマスクの着用
1 鼻と口の両方を確実に覆う
2 コムヒモを耳にかけ
3 隙間がないよう鼻まで覆う

重野能之議員 厚生労働省

新型コロナウイルス対策の基本、咳エチケットのチラシ

Q テレワークを活用し町の活性化を図ってはどうか

A 空き店舗の利活用や企業誘致などを今後検討していきたい



わたるひとみ
渡 一美 議員

Q テレワークで仕事を対象に、東吾妻町に住み働くというライフスタイルを提案してはどうか。

A 働き方の新しいスタイルとしてテレワークが普及することにより、移住を選択される方も多く出ることが予想される。

インターネット環境の充実がテレワークに必要なので、テレワークオフィスを設置すれば本町を移住先として選択する際の、一つの基準になると考える。

Q 原町駅前の空き店舗をを活用し、サテライトオフィスを設置しテレワーク移住に繋げてはどうか。

うか。今までは、町の魅力を引き出すことはなかなかできなかった。しかし、新型コロナウイルスにより密接を避けたい、安心、安全な生活をしたい、という方が多くいる。新たな働き方を町の活性化に繋げてはどうか。

A 原町駅周辺を始めとして、空き店舗の利活用や企業誘致なども含めて、今後検討していきたい。

都会の密集した環境の中で、ソーシャルディスタンスをとって生活することは困難である。当町のような地方の生活環境を希望される方が増加している。県内でもいくつ

かの自治体でテレワークオフィスを設置・運営しているところもあり、利用状況などを調査して検討していきたい。

Q サテライトオフィスは働く人だけではなく、子供たちへのインターネット環境の提供にも繋がる。今後、小中学校への全生徒タブレット導入に伴い、Wi-Fi環境の無い家庭への対応が課

題だ。学習の格差を生まないためにも、各地区にWi-Fiを利用できる環境を整備してはどうか。

A 各地区に、Wi-Fi整備も必要。坂上のお試し移住、岩島の地域振興センターなどのWi-Fiの整備、その他の地域でも考えられる。今後もテレワーク、Wi-Fi整備を取り組んで行きたい。



群馬原町駅前の空き店舗

議 案 な の 審 議 結 果

第2回 臨時会（令和2年4月17日）

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡辺一美	井上英樹	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
東吾妻町固定資産評価員の選任		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/17
専決処分の承認（東吾妻町税条例等の一部を改正する条例）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/17
専決処分の承認（東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/17
専決処分の承認（令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第1号））		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/17
吾妻環境施設組合の設立		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/17

第2回 定例会（令和2年6月5日～16日）

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡辺一美	井上英樹	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
専決処分の承認（令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号））		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町教育委員会委員の任命		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町監査委員条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町職員団体の登録に関する条例の一部を改正する等の条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
吾妻峡温泉天狗の湯使用料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町介護保険条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町税条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
令和2年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
令和2年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
工事請負契約の締結について（防災行政無線固定系デジタル化更新工事 戸別受信機）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
業務委託契約の締結について（東吾妻町防災・減災省エネルギー設備導入事業委託）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
東吾妻町簡易水道事業への、移行に関する件 ※委員会の趣旨採択に対し		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	6/15
町道5242号線改良の請願		14	8	5	可	-	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6/15
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

6月8日の総務課をはじめに所管事務調査を行い、町長・副町長、各担当課長から丁寧な答弁を頂きました。主な内容としては、新型コロナウイルス感染症対策関連の町の経済対策をはじめとした各施策についてであります。

また、町商工会から議



請願3号の現地確認

会に出された「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業者支援の要望書」についても協議し、あらためて町経済の厳しい状況を認識すると共に町当局への政策提言に繋がっていくことで委員間で一致しました。

請願1・3号の審査では、地元区長様にお世話になり現地調査等を実施しました。厳しい地域の実情から目をそむけず、地域の方々に寄り添うことと第一に考え、今後も適正な請願審査に努めていきたいと思っています。

文教厚生常任委員会

第一回定例会以降新型

コロナウイルス感染症による緊急事態対応策として、電子メールを使用して執行部との情報交換を中心とした閉会中の調査を行ってきました。第二回定例会においては、町民課、保健福祉課、教育委員会に関する事、およ

び町政全般にわたる事務調査を行いました。

その中でも新型コロナウイルス感染症対策について調査と対策に関する議論が行われました。

主な内容として、教育関係については6月1日に再開したこども園、小学校、中学校の子供たちの様子や感染予防、心のケアなどについて話し合われました。

医療福祉については、それぞれの現場の状況、対策物資の備蓄状況と第2波への備えと対策について。抗原・抗体検査やPCR検査への町補助の必要性などについて議論がされました。

また、東部衛生施設組合職員や収集業者職員への慰労について話し合われました。

これらの議論や提言について、議長へ報告し執行部への議会提言として取り上げていただきました。

議会運営委員会



昨年の高校生議会

高校生・中学生議会は時間が取れないため本年度は中止とし、議会報告会の開催は状況により9月議会中に決定することになりました。

議員報酬の減額について協議し、発委第1号を提出しました。

東吾妻町議会災害等支援本部設置要綱(案)については委員会の案を議員全員協議会に送り、検討後最終案とすることになりました。

議会のユーチューブ(映像配信)について調査研究を進めていきます。

各委員会からの活動報告

行財政改革 特別委員会

財政調整基金は28億7050万円、積立金を債権運用し、516万4000円の運用益がありました。委員会から起債と償還のバランスを要請しました。

感染症対策で本庁とあづま支所の分散勤務を行い、Web会議を試行することができたことです。迅速な住民サービスとこれからの勤務の在り方のため進めるよう要請しました。

公共施設、特定課題の駅南と旧庁舎跡地利用はサウンディングによる民間業者との対話型市場調査を行うということで、事業検討の早い段階での実施を願いました。

地域公共交通はPTAや区長のアンケートにより、バスの乗降ポイント进行调查したということです。当初ドアツードアという

説明だったが、乗降ポイントとしたのはどういう理由かを質しました。バスの規定により乗降ポイントを設定したということです。足腰が弱くバス停まで行く自信がなくても家の前で乗れるという期待を持った方もいるので、当委員会としては、運用する中で利用者の状況を報告することを申し入れました。

ハッ場ダム及び地域 開発特別委員会

6月11日に委員会を開催し、県及び町から進捗状況の説明がありました。



大柏木側、電気室棟の工事

県事業の進捗状況では、大柏木川原湯トンネルでは天井部のコンクリートの覆工工事も出入り口を残しほぼ完了し、現在は照明工事を行っています。大柏木側では電気室棟の建屋工事を行っています、12月完成目標に向けて工事を行っているとの報告がありました。

水源池域活性化支援事業では、JR吾妻線廃線敷の利活用で自転車型トロッコの格納庫やプラットフォーム、安全施設、案内看板の設置等が終了し、横谷駐車場の整備を行っています。

道の駅あがつま峡の状況については、新型コロナウイルスの影響で、4月18日から5月21日まで閉館したことにより、昨年の同月と比べ、利用者は大幅な減少となっています。

自転車型トロッコのグランドオープンについては、9月を計画しています。

上信自動車道開通式(箱島)



すが、新型コロナウイルスの状況により、再延期の可能性もあるということです。

また、廃線敷の道陸神トンネルの進捗では、はつりや落石防止のエキスパンドメタルの設置工事を行っているとの報告でした。

次に上信自動車道建設工事事務所との意見交換会では、去る6月7日に金井インターから箱島インター間が開通し、各バイパスの工事の進捗説明がありました。

まちの声

「日本の粹」

阿部 裕幸さん（根付作家）

「皆の者控え！この紋所が目に入らぬか！」
ご存知水戸黄門の一場面です。この時かざした
印籠の端についてるのが根付です。印籠を装着
した折、帯から落ちないようにストッパーの役
割を果たす小物を根付とよんでいます。手のひ
らに収まり、突起物がなく丸い形状で、上下左
右前後どこから見ても合理的に出来ているミニ
チュア彫刻品です。これに日本人の粹なセンス
が凝縮されています。



手許にある古典根付を紹介します。タスキを
かけチョンマゲを結った男性が、はいつくばっ
て床を刷毛で掃除している図柄です（写真1）。
手に取り裏返して床面を見ると、何やらグニャ
グニャしていて、何だこれ？の疑問が沸きます。
この形は何を意味するものかといろいろ方向を
変えてみると、床にあたる部分が「心」の字形
となっています（写真2）。ここでハタと気が付
き膝をポンと叩いて、作品に込められた意図を
理解するわけです。つまり床を磨くと見せかけ
ながら、真意は心を磨きなさいよ、というメッ
セージを発しているわけです。何とも粹なこと
を、さりげなく作品に醸し出す「ひねり」を江
戸時代の人たちは持ち合わせていたものです。この
DNAを引き継いでいる現代人も粹のセンスを
磨きたいものですね。

江戸時代の根付



写真1



写真2

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開され
ています。傍聴希望の方は、役場3階の議会
事務局までお越しください。

次回の定例会は9月4日開会予定

9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 本会議	5
6	7 本会議	8 常委	9 常委	10 特委	11 特委 全協	12
13	14	15 本会議	16 本会議	17	18	19

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員
全員協議会

緊急事態宣言が解除さ
れ、第2波、第3波の感
染予防に新しい生活様式
が始まります。「密集・
密接・密閉」を避けなが
ら積極的に生活していき
ます。
猛暑が予報される夏、
コロナウイルスの感染・
熱中症が心配されます。
「うつらない。うつさな
い」を第一とし、自分
の命、他の命を大切に

議会広報特別委員会
委員長 樹下 啓示
副委員長 井上 英樹
委員 渡 一美
委員 高橋 弘
委員 茂木 健司
委員 高橋 徳樹
委員 青柳 はるみ

して、ウィズ・コロナの
生活を送っていきましょ
う。
(茂木 健司)

編

集

後

記